

## 検証の視点

今回の災害応急対応について、以下の3分野に焦点を当てて、①被災地と現地対策本部、政府統括部局との情報流通、②実施部署への指示系統・連携体制、③国、県、市町村の役割分担、といった3つの視点を中心に課題を抽出するとともに、災害対応上有効と認められる新技術等の活用にも着目して検証を行う。

### ○自治体支援

- ・自治体の受援体制はとれたか
- ・国は自治体機能の状況が把握できたか
- ・国や県の支援策は機能したか
- ・現地派遣職員に対する支援・環境整備が適切に行われたか
- ・国に期待される役割は何か

### ○避難所運営

- ・避難所の状況把握が適切に行えたか
- ・行政と警察、医師や保健師、NPO等との連携は適切に行えたか
- ・給水支援、トイレ設置等の衛生環境向上の取組は適切に行えたか
- ・二次避難（孤立集落対応を含む）は適切に行えたか
- ・市町村は適切に機能したか
- ・国に期待される役割は何か

### ○物資調達・輸送

- ・備蓄物資は適切に効果を発揮していたか
- ・必要物資のニーズを的確に把握できたか
- ・物資調達（国の備蓄品の活用を含む）が適切に行えたか
- ・民間事業者、自衛隊等との輸送にあたっての連携体制構築が円滑にできたか
- ・物資輸送の手段や経路の調整が適切に行えたか
- ・県、市町村との役割分担は適切に機能したか
- ・国に期待される役割は何か

### ○その他

※上記検証にあたっては、有効性があった、あるいは有効性が期待される対応策、新技術等についても抽出を行う。

※現在なお継続している水道復旧、住まいの確保、がれきへの対応等については、当該検証後に検討を行うことを基本とする。